

# 楽らく通信

2014年冬号



## らく福社会

らく福社会 wix

検索

らく福社会を  
もっと身近に

# HPが完成しました

### 【目次】

- |         |             |    |                              |
|---------|-------------|----|------------------------------|
| 1       | 表紙          | 9  | グループホーム活動報告                  |
| 2,3     | 合同レクリエーション記 | 10 | スペース楽1 活動報告／新入職員あいさつ／実習を終えて  |
| 4       | 楽らくツイッター    | 11 | スペース楽・2 活動報告／夏ボランティアからのメッセージ |
| 5,6,7,8 | 歴史を訪ねて（二）   | 12 | 活動報告／賛助会員／らく福社会 HP／編集後記      |

### 【発行】

- スペース楽● 小金井市東町 4-10-14 TEL: 042-388-6456 FAX: 042-316-3664 E-MAIL: space-raku@mx4.alpha-web.ne.jp
- スペース楽・2● 小金井市本町 1-6-11 TEL/FAX: 042-388-7887 MAIL: raku2@jcom.home.ne.jp
- グループホームこがねい・ちぐら● TEL/FAX: 042-387-8468 ●グループホームらく● TEL/FAX: 042-383-618



# らく福社会ディズニーシー 日帰り旅行 2014年9月30日

予定よりも早く 10 時半ごろ現地に到着。はやる気持ちを抑えながら急いで集合写真を撮り、皆の心は一気に夢の国へ！

いよいよグループ行動の開始です。

バスは順調に高速道路を進み、窓から見える東京タワーや高層ビル群に目を奪われつつ、4月から入職した職員がこの日のために準備したディズニークイズを楽しみました。



らく福社会合同でディズニーシーへ日帰り旅行に行ってきました。

一週間前の天気予報では台風の予報でしたが、当日は夏の日が戻ったような晴天に恵まれ、朝9時リサイクルセンターを出発。

小金井市社会福祉協議会のバスに乗り、総勢27名で舞浜を目指しました。



参加したみんながたくさんのお土産を抱えながら帰りました。夢の国を満喫し、充実した1日を過ごすことができました。

そして、なんと次の日は雨でした。晴れ女、晴れ男たち、ありがとう！

今回の旅行は東京都共同募金会の配分金のお世話になりました。

ありがとうございました。



人気のアトラクションを目指して歩く班、ベネチア風の景色を楽しみながら移動していく班、ステージのショーに見入る班、ひとまずお買いもの♡の班・・・いつもの活動の場ではなかなか見られない笑顔をかかえてそれぞれの好みに合わせてパークの中へ。

3時45分の集合時間まで目いっぱい歩き回りました。

## ●職員感想●

楽・2 鮫島

○「マイペースな女性3人と職員1人で、買い、乗り、食べ、乗り、食べ、買い、乗り…。観る（ショー）ことはできませんでしたが、大満足。欲を言えばあと1時間多く夢の国で過ごしたかった。。。」

○「人気のものばかりでなく10分待ち程度のものも乗っていったら思いのほかたくさん乗れました。昼食や休憩を入れながらお土産もちよこっと見れました。怖いものはあまり乗りたくないグループだったので時間も十分だったかと思います。」

○「今回はバスレクを担当させていただきました。ディズニークイズを楽しんで貰えたようでうれしい限りです。アトラクションに初めて挑戦されたメンバーさんたちの、驚いたり楽しんだりされる顔を見ることができました。ありがとうございました。」





## ★ディズニーシー日帰り旅行の感想を一言！★

- ★ ディズニーの絶叫系な乗り物がおもしろかった。 渡辺俊行
- ★ 乗り物が恐かった 小松要平
- ★ 初めてディズニーシーに行く事ができて、たくさん乗り物に乗ることができて、とても楽しかったです。  
職員の皆様、バスの運転手さん、有難うございました。 Y・W
- ★ 又、みなで楽しく行きたいです。  
スタッフの皆様本当に有難うございます😊
- ★ 絶叫系のれて良かった さっぴ
- ★ 天気が良くていろいろ回ってとても楽しかったです にゃん子先生
- ★ 楽しかったです。みんなと参加できて良かったです。天気にも恵まれました。  
うきわまん、おいしかったよ!! 木田
- ★ ディズニーシー楽しかった  
もっと見たかったがあれで精一杯だった  
つかれた CA
- ★ ディズニーシーは私には始めてでした。  
いろいろな乗り物やアトラクションを見ることが出来て良かったと思います。 S・W
- ★ ゴンドラやトロッコ電車に乗ったり、ショーを見たりとても楽しかったです。うきわまんを食べておいしかった。1人では行かないのでみんなと行って良かったです。 佐々木
- ★ 天気でよかった。  
もっとたくさん乗り物にのりたかった 藤田
- ☆ Disney Seaは2回目でしたが、すごく楽しかったです。いい思い出になりました siori
- ☆ おもしろこわくて良かった!! 加藤
- ☆ いけなくて ざんねんでした 鈴木
- ☆ パレードは見られませんでした。がステージでミッキーとミニーのダンスが見れたので良かったです。久し振りに若返った気分になりました。  
山上
- ☆ いろんな乗り物にのれて良かった  
なくし物をしたのが残念! JMB
- ☆ ゴンドラがたのしかった。足がつかれた  
たくさんあるいた。 上野
- ☆ うきわまんがすごくおいしかったです。  
乗り物も4つ乗れて満足です。時間がなくて絶叫系に乗れなかったのとお土産を見る時間が10分しかなかったのが残念でした。 木川
- ☆ 念願のうきわまん、おいしかった。  
暑くて疲れたけど、すごく楽しかったです。  
今度は夜行ってみたいいな… 笹本
- ☆ とても刺激的でとても楽しい体験でした。  
又行ってみたいです。ありがとうございました。  
阿部
- ☆ 天気も上々で少し暑くはありましたが、人混みが楽しくて又ゆくりと行きたいです。 中西
- ☆ 乗り物にたくさんのれて楽しかったです  
MT





	<b>くらげ姫</b> 1. SEKAI NO OWARI の音楽を聞く事。 2. 映画を見る事。
	<b>K.M</b> 私は読書にはまっています。子供の中学校からきたお手紙にのっていた本などを読んでいきます。楽しいです。
	<b>K.Y</b> マイブームは私事ですが、実母が病気療養のため、自分の事と、家の事と、母の療養所にかよう状況なので大変なことは今までもありましたが、これから先も、どう家族と向き合っていくことが大切ですね。その中でも作業は自分のリフレッシュする気分転換するところで、いろんな人と会話、作業などでまぎらわしています。
	<b>T.T</b> 月～金 夜 8 時から 45 分間テレビをみながら楽しんでいる
	<b>S.Y</b> サザンオールスターズとビール
	<b>T</b> まんがきっさで 6 時間読書ざんまい
	<b>N.A</b> 楽に週 2 回参加出来た時は BOOKOFF で漫画の文庫本ブラックジャック(100 円)を 1 冊買う
	<b>M.D</b> よくやっているなあ
	<b>㊦</b> 食べ物はおさしみが好きです。
	<b>か</b> またディズニーに行ける様な元気な自分になれる様に努力しています。楽しいから笑顔になるんじゃない、笑顔になるから楽しいんだ😊♡
	<b>T.S</b> お菓子とか好きな食べ物を買って食べることです。
	<b>S.I</b> 新井素子さんの小説「グリーン・レクイエム」 この人の小説は私にとって読みやすく、短時間で読み終わってしまいます。
	<b>Y</b> 野川公園の自然観察園内のリサイクルの木のチップをまいた土の道がフワフワモコモコで気持ちよかったです😊
	<b>カツ</b> 写真をとること 通所がんばってるところ
	<b>M.K</b> ケーキなどちょっと高くおいしい甘い物を食べること。
	<b>T</b> かるじゃが

	<b>K.G</b> めいそうして、アットホームな空気を味わう
	<b>N.K</b> コーヒーが大好きです ^g^
	<b>伊藤政夫</b> 1年間病院のディケアを休みませんでした。食事の好ききらいがありません。
	<b>T</b> 今年の 2 月から、25 日に昭島駅の北口にあるスポーツ用品店にて体組織測定をしてもらっています。→自分自身の体脂肪率とか筋肉量が分かります。やっとクロスバイクと自転車用のGPSを購入しました。
	<b>富田功市</b> 私は毎日、スペース楽Ⅱで頑張っています。 東北の子供達や日本全国の子供達頑張ってるね。
	<b>K.D</b> 毎朝、FM東京の中西哲夫のラジオを聴いて面しろういトークを楽しんでいます。りんくのお店で栗パウンドケーキが売れて良かったです。
	<b>K.W</b> ジャズを聞くとほっとする。
	<b>S.T</b> 仕事が毎日忙しくて仕事が休みの時にたまたま自分の欲しかったグッズなどが手に入った時！が神様からのご褒美だと思っています！
	<b>M</b> 自分へのごほうびはカラアゲです
	<b>和</b> 私はアロマやお香にはまっています。マイブーム、ごほうびは本を買う事です。
	<b>Y. O</b> お好み焼きが好きです。
	<b>W</b> 夕食会おいしく頂いてます。
	<b>柴</b> 私のマイブームは、毎朝フレンチトーストを焼き、生クリームをそえて食べるのがささいなたのしみです。朝の甘い物は幸福な気分してくれます。
	<b>M</b> 私は 10 月 8 日に引っ越しました。荷物で部屋中箱だらけの数日でした。この所やっと片付いた感じです。そんな中、私へのごほうびとしたら、友人と会ってお美味しいものを食べておしゃべりを楽しむことです。これからもよろしくお願ひします。
	<b>T.H</b> おいしい弁当を買う。

## 小池薫と松沢病院の闇

これは大正から昭和にかけての時代のことである。

小池薫という青年がいた。本名かペンネームか定かではない。東北なまりがあったというが出身地も分らない。当時少年で彼に好印象をもっていたという宮本三郎氏の手記によれば、色白細面、長身長髪でたいそうな好青年、衣装さえ着けたらフランスルイ王朝の貴公子さながら。いつも人力車の車夫のような格好で、一緒に町を歩くと近所の女工さんがすれちがいがら振り返ったという。

小池薫は当時の日雇い労働者の寄せ場、東京深川富川町に暮らし、社会運動家として活動していた。

当時、大正10年頃は米価高騰により各地に起こった米騒動の後、大正デモクラシーの時代で普通選挙法実施要求運動や貧困や労働条件の改善を求めて社会正義を求めるたくさんの方が様々な社会運動に身を投じていた。小金井市で賀川学園などを運営する雲柱社の創設者、賀川豊彦が貧困救済のため神戸のスラムで活動を始めたのもそのところで、その後、賀川は労働組合運動、農民運動、協同組合運動などに献身する。

三郎少年は大阪市水崎町に父・逸見直造が開いた借家人同盟・労働者無料法律相談所に集った社会運動家たちのうち大正3年から昭和20年にかけて少年が覚えていた140人を6年後に手書きの2冊の回想記にまとめた。いずれも30冊前後の限定私家本だった。その本の中で小池薫を「水崎町へ立寄った多くの人々の中で彼ほど今も忘れられない人はない」と書いた。後に2冊をまとめ歴史的に貴重な証言として出版され、ようやくその内容を知ることが出来るようになった。この本がなければ、小池薫の存在は闇の中に埋もれたままだった。

14才の三郎少年は、1921年6月ころ水崎町の宿に「東京へ帰る汽車賃をつくるため、4、5日働きたい」と父を訪ねてきた小池薫と社会問題講演会の辻ビラ吊りを一緒に3日間やった。小池の手際が良かったので5日の仕事が3日で終わり、毎日が楽しかった三郎少年には物足りなかった。「サブローさん、楽しく面白かったね」と言ってお出で行った。だが、夜の急行で東京へ帰るはずの小池が梅田駅近くのあやしい店で飲んで一文無し、そんなことが2晩続いてやっとな東京へ帰って行った。三郎少年が小池薫に会ったのはこの時1度だけだった。

2年後の1923年12月、難波大助が水崎町の宿を訪ねて来た。「大阪へ行ったら、水崎町の逸見宅へ立ち寄って、小池がその節大変厄介になった。そのことがいまでも忘れられない。サブロー君には小池は元気でやっている」と伝えてくれ」と頼まれたとのことだった。

その年1923年・大正12年、9月1日には関東大震災が起こっていた。

呉秀三らが設立にかかわった精神病患者救治会は被災した患者のため松沢病院内に精神病患者臨時救護所を開設、その後、神田駿河台に精神病患者相談所を開設した。

賀川豊彦は本所で被災者救済の活動を始め、後に託児所を開設、これが社会福祉法人雲柱社の起源となった。

一方で東京には戒厳令が発せられ、9月3日、朝鮮人が民衆によって私刑を受けた震災後の混乱期に、朝鮮人無政府主義者・朴烈と金子文子が治安警察法に基づく「保護検束」の名目で検挙され、東京淀橋警察署に連行された。亀戸では9月4日、労働組合の平沢計七、川合義虎ら10名が亀戸警察に捕えられ、習志野騎兵第13連隊によって刺殺された。また9月16日には、麹町憲兵隊の甘粕大尉らは無政府主義者・大杉栄、伊藤野枝夫婦と甥で6才の橋宗一を虐殺し、憲兵隊の井戸に放り込んだ。



大正・昭和初期ころの松沢病院

9月20日、時事新報や読売新聞などにより大杉ら3人の殺害が報じられ、警視庁は捜査を要求。9月19日の閣議でも問題になっていた矢先の報道であった。軍は9月20日付で東京憲兵隊渋谷分隊長兼麹町分隊長であった甘粕正彦大尉を軍法会議に送致し、福田雅太郎戒嚴司令官を更迭、憲兵司令官小泉六一少将らを停職とした。当時警視庁警務部長だった正力松太郎は談話で陸軍の組織的犯行を示唆し、「子供が一緒でなければ大杉事件はまるで知られずに済んだのだ」と発言した。しかし軍法会議は甘粕の背

後関係には立ち入らず、12月に甘粕大尉に懲役10年、森曹長に同3年、その他殺害に関与したとされていた部下3名に無罪の判決を下して結審した。

亀戸事件の事実は発生から1ヶ月以上経過した10月10日になってようやく警察により認められた。犠牲者の遺族や友人、自由法曹団、南葛飾労働会などが事件の真相を明らかにするため糾弾運動を行なったが、「戒嚴令下の適正な軍の行動」であるとし、事件は不問に付された。

大震災直後に起こった社会主義者・労働運動家らに対する警察や軍による拘束や虐殺に対して多くの国民の怒りが湧き上がった。

そして12月27日、虎ノ門事件が起こる。摂政として議会の開院式に出席するため、自動車で貴族院へ向かっていた皇太子（後の昭和天皇）に、虎ノ門外で群衆の中にいた難波大助が接近し、ステッキ仕込みの銃で狙撃した。銃弾は車の窓ガラスを破り、同乗していた侍従長が軽傷を負った。大阪水崎町に現れ、小池の伝言を伝えたわずか2日後のことである。難波大助はその場で捕えられた。

難波大助は山口県出身、父・作之進は衆議院議員、事件の報を受けるや直ちに辞表を提出し、翌年、大助の刑が確定し執行されると閉門の様式に従って自宅の門を青竹で結び家の一室に蟄居し、食事も十分に摂らず餓死した。犯行に使われたステッキ銃は伊藤博文がロンドンで手に入れ、人づてに難波作之進に渡ったものであった。選挙地盤は松岡洋右が引き継ぎ、戦後は岸信介、佐藤栄作という大物保守系政治家に引き継がれ、昭和史を動かす遠因となった。

当時の総理大臣・山本権兵衛は即刻辞表を提出し1月に内閣総辞職。また、当日の警護責任を取り、警視總監の湯浅倉平と警視庁警務部長の正力松太郎が懲戒免官になった。正力はその後、読売新聞の経営権を買収、社長に就任する。

難波大助は事件を起こす前、自分が精神異常者ではないことを示すために、新聞社に対して、テロ決行の趣意書を送付し、自分は共産主義者であることを伝え、友人らには累が及ばないようにと絶交状を送りつけていた。

大助は「私が新聞社へ手紙を出しました理由はこれまで天皇に対して危害を加えるものを往々狂人扱いにすることが権力者の常とう手段であることがうかがわれたので、私は決して狂人で無いことを証明するため、また一つは私はどこまでも共産主義者で現在の政党とは掛け離れていることを証明するためでした」と述べている。

警察は大助の背後に関係する組織や人物がいて、それらしい人物を片っ端から留置して取調べたが調べが進むにつれ大助単独の線が強くなっていった。虎ノ門事件は難波大助の単独犯であり、確信犯としての大逆事件であった。

一方で、原敬内閣で国勢院の総裁を務めた小川平吉は「今度の不敬漢が狂人であればよいと思う。万一主義者の所業となったら由々しい問題である」（東京日日新聞）と談話している。大助を何とか精神異常者として処置しようとした。それはまた、父、作之進の思いでもあったかもしれない。事件の翌月、年が明けた1924年1月16日から21日間、市ヶ谷刑務所で大助の精神鑑定が行われた。鑑定

をしたのは呉秀三である。呉は内務省などの政治的圧力に屈せず、20数ページにおよぶ鑑定書を提出する。結論は「精神的には何ら欠陥を認めず」というものだった。大助の裁判はこの年の11月1、2日の2日間のみで、13日に死刑判決が出る。刑の執行はその2日後、15日。事件から1年も経たずに難波大助は25才の生涯を終えた。

翌1925年・大正14年5月、大助らもその実現を求めていた普通選挙法が公布されるが、社会変革を恐れた枢密院の圧力により前月の4月に治安維持法も公布されている。

1924年、三郎の兄、逸見吉三は病気で6月まで入院。父、直造は前年の10月に心臓発作で亡くなっていた。

春の終わり頃に大阪水崎町の三郎の家に小池薫から1通の手紙が届く。

その手紙は走り書きで、「俺は今精神病院に狂いとしてほうり込まれている、俺は気も確かで変わった処がないのに何処に市ヶ谷刑務所に難波さんに差し入れと面会に行ったら、狂人扱いにされてこの病院にイヤオーなしに自動車に乗せられて来たが病院長にも診て貰ったが正気だと話しても聞いてくれない。どうか頼むから病院に来て俺を帰らす様に運動して出して下さい、お願いします」封筒の裏書は住所と松沢病院内、小池薫とどこも乱れた文字はなかった。

思わぬ内容に驚き、詳しく知るため東京の知合いに問合せたところ、「小池薫は難波大助が市ヶ谷刑務所に収監されたのを知り、差入れの本数冊と面会を申し込んで30分位待たされていると、警視庁の特高課の私服警官が3人来て、大逆犯人に面会とは何事だ、この馬鹿野郎と怒鳴って、否応なしに警視庁に引っ張っていかれ取調べを受け、松沢病院に狂人扱いにされて引渡された。難波大助の裁判も審理中なので菊川町、富川町の仲間、2、3人に病院から出してくれる様に手紙が来ているが、今のところは動けません」との返事。

小池薫が難波大助と共犯者であったら、わざわざ捕まるであろう面会に行くはずがない。大逆犯人となってしまうた友人に面会に行くには逡巡があっただろう。それでも差入れに本を持って面会に行ったのは、小池薫の優しさであり、友人であった難波大助を心配してのことである。まさか自分の身がこのような事態になるうとは夢にも思っていなかっただろう。

その後も小池から度々手紙で、「この手紙を書くのに苦勞して見付かれば取り上げられ、患者の面会の人に内密に頼んで差し出して貰うのも大変なのだ、今迄の手紙を読んでくれてはいないのか、なぜ返事も面会にも来てくれないのか、早く病院から出る様にしてくれ、頼む」

更に手紙が来て、「いくら出しても、東京の富川町の友人に出したが面会も返事も、一つもくれない、どうしてだ、俺は気も狂っていないし、この通り正気だ、早く出られる様にして下さい」

手紙が4、5通位になった時、東京の山崎今朝弥弁護士に手紙を添えて連絡を取ると、「小池君が松沢病院に狂人扱いを受け入れられています。こちらの2、3人の同志へも手紙が来ており、松沢病院に面会に行っておりますが、病院側は警察から面会はおろか、小池宛ての手紙はいつさい手渡しを厳しく禁じられており、難波大助事件は大逆事件として裁判が開かれていない現時点では下手に小池君に面会、或いは救出などに動く、当局の捜査によって第二の幸徳等の大逆事件になり兼ねないので、小池君には気の毒であろうが、自重して下さってしばらく様子を見守り下さる様に」との返事。

小池薫からの手紙は2ヶ月位に1通、3ヶ月位に1通と数も次第に少なくなり、難波大助が処刑された後も2通は届いた。最後の方はちり紙に書き文字も大きく小さく乱れ書きで文章もちぢれちぢれて、「助けてくれ、殺されかかっている、早く助けてくれ」との内容だった。

小池薫から手紙が来なくなって、2年位の頃に山崎弁護士から手紙が来て、「世間が落ち着いたのでかねて気になっていました小池薫君の松沢病院に向いて面会を求めましたところ、小池薫なんて、その様な患者は当院にはおりませんとの話で、すでに亡くなられていると思います。誠に申し訳なく残念ですがご報告に替えまして」とのこと。松沢病院で亡くなった無縁仏は世田谷の豪徳寺で供養されたという。

関東大震災後に食糧事情の悪化などから松沢病院の患者の死亡率は上昇していく。松沢病院でも看護人の待遇改善を求めて労働争議も起きている。難波大助の精神鑑定では政治に左右されず医学の立場を守り切った呉秀三も小池薫の松沢病院入院、収容には何ら手立ては無かったのであろうか。

また、不敬罪など皇室に関わる問題で精神病院に「入院」させられた「患者」はその後もいるが、それは「被疑者を精神病患者にして事件をウヤムヤのうちに葬ろうとする意図がみえる」（『昭和史発掘』松本清張）あるいは、「精神異常者という名で、病院に隔離された。皇室関係事犯者への常套的な処置だった」（『天皇裕仁の昭和史』河原敏明）という。



現在、豪徳寺にある世田谷で亡くなった無縁仏の墓  
豪徳寺は井伊家の菩提寺で招き猫の寺でもある



幕末、桜田門外の変で暗殺された井伊直弼ら  
井伊家の墓所のはずれ、一番奥にある

三郎少年はその後60年間、小池薫のことを忘れず、後世に伝えるため回想記を出版した。小池薫の想い出を書く前、兄の吉三と共に9月の彼岸に大阪の四天王寺で経木に「小池春水事薫」と筆記してお坊さんに読経してもらったという。

小池薫というおそらく30年に満たなかった非命の実在を、罪を犯したわけでもなく、ただ友人思いの1人の若者の人生が社会から密かに葬られた事実を、精神病院がこのように使われた時代があったことをけして忘れてはならないだろう。

イギリスでは第二次世界大戦後、戦前から宗教的理由でシングルマザーを精神病院に長く収容していたことが判明、その過ちを繰り返さないこともイギリスの精神病院改革の一つになったという。

戦後69年、呉秀三が「この国に生まれた不幸を重ねる」と言ってから96年が経つ。

小池薫が葬られているか定かではないが、豪徳寺の無縁仏の墓に手を合わせた。8

2014年5月9日

富澤淳一

#### 参考文献

- 『アナキスト群像回想記・大阪・水崎町の宿』平成18年 宮本三郎 出版社あ・うん
- 『アナキストたち・無名の人びと』2005年 向井孝 「黒」発行所
- 『難波大助の生と死』1980年 原敬吾 国文社
- 『日本政治裁判史録・大正』昭和44年 我妻栄 第一法規出版
- 『狂気と王権』井上章一 2008年 講談社学術文庫
- 『呉秀三―その生涯と業績』昭和57年 岡田靖雄 思文閣出版
- 『松沢病院院長日記』2004年 風祭一元 星和書店
- 『私説松沢病院史』1981年 岡田靖雄 岩崎学術出版
- 『日本精神科医療史』2002年 岡田靖雄 医学書院
- 『精神科症例集・上巻』1975年 岩崎学術出版
- 『都立松沢病院の歴史研究から見えてきたこと』鷹野朋実『看護教育』2006増刊号』医学書院



# ●グループホームこがねい・らく・ちぐら 活動報告●

## 《防災まち歩き》



障害のある方が利用する市内のグループホームが年に数回開いている連絡会で東日本大震災以降、防災に関する話し合いが重ねられてきました。その中で、小金井地域で行われている防災まち歩きを地域の方々と一緒に行おうとの話が挙がり、5月15日に実現しました。当日は前原町・中町地区にある知的・精神に障害のある方のグループホームの利用者さんや民生委員、町内会の方など40名が参加しました。

この「防災まち歩き」とは、災害を想定しながら自分たちの生活している地域を歩いてみることで普段気づかない場所やモノを発見しようといった試みです。今回は小金井神社から小金井第二中学校までの道のりを歩きました。皆で歩きながら、電柱の上にあるドラム缶状の柱上変圧器が災害時には落下する危険がある・道端に消火器が設置してある等、普段歩いているとは気が付かない新たな発見をしながら歩きました。小金井第二中学校では校庭に入り副校長から災害時における学校としての役割についての話をいただきました。最後に、天神前集会所で歩きながら発見した危険な道などについて意見を出し合い防災マップの作成をおこないました。

今回の試みは防災意識の向上だけでなく、地域の方々へのグループホームの周知という面でも非常に大きな意義がありました。また4カ所のホームが合同で行ったことで、お互いの理解も深められたと感じています。

最後になりましたが、今回ご協力いただいた町内会、小金井ボランティア・市民活動センター、小金井市障害者地域自立生活支援センターの皆様ありがとうございました。

グループホームらく 徳久香菜

+++++

## 《横浜日帰りレク》



グループホームでは久しぶりの日帰りレクで、10月10日に横浜中華街へ出かけました。去年は8月に行き暑かったのが今年10月になりました。

交通費が自己負担の上、平日だった為参加人数も少なく・・・。

でも遠い道のりをのんびりと出かけることができました。現地に着くと楽しみにしていた昼食。王道のラーメンはやはり外せない。エビチリ丼はさほど辛くない。マーボー豆腐丼、これが意外に辛い。皆美味しくいただきました。それぞれ昼食を堪能した後に、軽い運動も兼ね、自由散策。中華街をブラブラ歩くと何やら音楽が聞こえ見に行くと学校創立記念祝賀パレードとのこと。しばらく眺めて集合場所へ。ここで、それぞれおみやげを購入。山下公園に向かいシーバスに15分程乗り横浜駅へ。海風が気持ち良かったです。職員もメンバーも気分転換になり、リフレッシュ出来ました。

グループホームこがねい 深栖寛子

## ◇スペース楽 活動報告◇

4月に就労を目指しているメンバーで『就労支援センターころ』の施設長をお呼びして就労学習会を行いました。センターの機能や利用の仕方その他、就労し働き続ける為に必要なことを確認し、各々で現時点のできていること、できていないことを考えてもらう時間も作りました。

6月には『夏場にも食べたくなるものを』と、新たなクッキーを3種類作りました。また、開所当初から作り続けてきたレーズンクッキーを10月に一新しました。4種類が新しく増え、現在は季節限定のものを合わせ14種類のクッキーを製造しています。

7月からは希望者で集まり、パソコン教室を始めました。第1、第3火曜日の午後1時間の中でパソコンの起動・終了の仕方、マウスの動かし方、キーボードの打ち込み等を3人の方が継続して行い、10月には見本に合わせてワードで文章を打ち込めるようになりました。今後も参加者の希望と様子に合わせて進めて行く予定です。

8月の防災訓練では、ミーティング中に震度6弱の地震が発生したと想定し、一時避難場所への道順の確認を行いました。その中で、危険箇所の確認や避難場所の再確認等ができ、有意義な訓練となりました。

10月、11月、12月の繁忙期には公園清掃や内職共に非常に忙しくなります。作業に前向きに取り組むメンバーに応える為に、たくさん仕事をやりたい人、あるいはいつもの作業量で調子の安定をはかりたい人等、それぞれの希望に沿ってプログラムを組み参加しやすい形で作業を進めるようにしています。

スペース楽 林智美

—\*—

## ◇新入職員あいさつ◇

スペース楽で11月から働いております。1月にPSW国家試験を目指し勉強中です。一度、受験に失敗しており、3年ぶりのリベンジです。受かるよう皆さま、応援よろしく願いします。仮に落ちたとしても、いじめたり、就労を取り消すことのないよう、変わらずお付き合いのほど、よろしく願いします。来年、再来年と挑戦しつづけますので！ またクッキーやケーキは人生で一度も作ったことがなく、未経験でわからないことばかりですが、食べることに関しては経験があり、自信があります！！

スペース楽 山根拓哉

—\*—

## ◇実習を終えて◇

スペース楽、スペース楽・2、グループホームの皆様

この度、10月6日から27日までの合計14日間、実習で参加をさせていただきありがとうございました。始めは緊張していた自分に、皆さんからたくさんお声をかけていただき、本当に毎日楽しく過ごす事ができました。そして、皆さんと様々な作業やプログラムをご一緒することで、そこから色々学ぶ事が出来ました。また、市民祭りでの販売など、たくさんの場면을共有させていただき、楽しい思い出もできました。ありがとうございます。来年からは実際の現場が始まりますが、この実習で学んだ事を初心に、先輩おひとりおひとりの背中に学びながら、自分なりのソーシャルワークを探していきたいと思っております。この度は誠にありがとうございました。



日本福祉教育専門学校 秋田宣郎

## ●スペース楽・2活動報告●

スペース楽・2では、6月に神代植物園、7月に善意銀行にご招待いただいてポリショイサーカスを観に行ってきました。6月の植物園はたくさんのバラが咲いていて‘リンカーン’や‘プリンセス・ミチコ’などよく知った名前が付けられたものを探したり、暑い日の温室には冷房が効いていることに気が付いて「植物たちは人より快適に暮らしているね」などと話したりして、のんびりした一日を過ごしました。何年前前にもご招待いただいたポリショイサーカスは、光や音の演出も楽しく、動物のショーに驚いたり、空中ブランコに歓声を上げたり、何度見ても新しく、楽しませていただきました。

9月にはらく福社会合同でディズニーシーへ出かけ、その他にも月に一回カラオケ、映画などミーティングで決められたレクリエーションに出かけています。毎回、一人ではなかなか行けない所にいけると皆さんに楽しみにしていただいています。遊びのほかにも市民活動祭りや福祉会館まつり、なかよし市民まつりに製作品の販売で参加させていただいたり、福祉会館での展示会を10月に開催したり、作業・販売にも取り組んで楽・2の活動を知っていただく機会を作っています。製作品の種類も増えて、らく福社会のホームページにアップしてもらえるようになりました。

楽・2の商品を知ってたくさんの数を注文して下さるお客様、お店に足を運んでくださる皆様、商品を置いてくださる地域の商店の皆様、材料のご寄付をいただきました皆様に紙面を借りてお礼申し上げます。

楽・2 鮫島



## ●夏ボランティアからのメッセージ●

8月5・7日の2日間、スペース楽・2で夏の体験ボランティアとしてお世話になった寒<sup>さがえ</sup>河江です。私は小学4年から現在の高校2年に至るまでの約8年間、同施設の方で夏休みの間、ボランティアを続けております。(…といっても、毎年2・3日程度しか顔を出していませんが) 私がここまで長続きたのはやはり、職員の方々や利用者の方々の優しさがあったからだと思います。ボランティアとして行っているにもかかわらず、未熟なために大変多くの迷惑を掛けてしまいましたが、いやな顔一つせずに「今年も来てくれた」と待っていてくださる方がいらっしゃったからこそ、今の自分があると断言できます。しかし未熟であることに違いはないので、これから先も多くの苦労を掛けるとは思いますが、できる限りボランティアを続け、今まで培ってきた絆をさらに深めていきたいです。皆様本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしく願いいたします(次は5年後ぐらいに載っけてもらおうかなあ)

都立小金井北高等学校2年 寒河江義勝

## 2014 年度前期 活動報告

### スペース楽 スペース楽・2 グループホームこがねいらく・ちぐら

4月	3.レク-カラオケ(楽) 11.レク-花見(楽) 15.レク-多摩動物園(楽) 14.就労学習会～エンジョイワークこころポーバルさん「就労準備と就労支援センター」(楽)
5月	7.レク-映画鑑賞(楽・2) 15.防災まち歩き(GH) 出張販売-福祉会館まつり(17-18 楽)(17.楽・2) 出張販売-国立精神神経センターデイケア祭(20-21 楽)
6月	4.レク-神代植物園(楽・2) 6.新作クッキー2種発売開始(楽) 10-12.作品展示会-福祉会館ギャラリー(楽・2) 出張販売-ヒガコ街なかマルシェ(28-29 楽)
7月	1.パソコン教室開始(楽) 出張販売-東センターまつり(5-6 楽) 23.学習会～小金井市田中管理栄養士「バランスの良い食生活について」 23.レク-ポリシヨイサーカス(楽・2) 小金井社協「夏の体験ボランティア」(市内小中高生)受け入れ(24.楽) (29.楽・2)
8月	出張販売-日本福祉教育専門学校(4.16.26 楽)(4.楽・2) 6.レク-カラオケ(楽・2) 6.レク-納涼会(楽) 12.防災訓練(楽) 小金井社協「夏の体験ボランティア」(市内小中高生)受け入れ(4.5.7.18.25 楽・2)
9月	25.生姜甘露煮作業開始(楽) 30.合同日帰り旅行ディズニーシー(楽/楽・2/GH)
10月	6-27.日本福祉教育専門学校実習生受入(楽/楽・2/GH) 8.新作クッキー発売開始(楽) 8-10.作品展示会-福祉会館ギャラリー(楽・2) 12.出張販売-聖ヨハネ祭(楽/楽・2) 18-19.なかよし市民祭り(楽/楽・2)

#### — らく福祉会賛助会員 —

らく福祉会賛助会員の皆様には、温かいご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
今後とも、ご支援のほどよろしくお願い致します。

- らく福祉会賛助会員 年会費： 一口 2000 円
- 郵便振替 口座番号：0016 - 5 - 171403
- 加入者名：らく福祉会



#### \* 編集後記 \*

「2014 年もあっという間に過ぎてゆきます」坂井

「来年も皆さんにとって良い年になりますように」徳久

「ホームページ、よろしく」夏川

#### \*らく福祉会ホームページ開設!!\*

各施設の情報等を掲載しています。

また、日々の様子はブログで配信していきます。  
らく福祉会のことを、もっと身近に、よりわかりやすく皆さんにお届けしていきます。(坂井)